



# ホームテイニングケアは福祉用具の 使い方だけではなかった

～介助する側もされる側も楽だわあ～



社会福祉法人 桜園  
特別養護老人ホーム 桜の丘

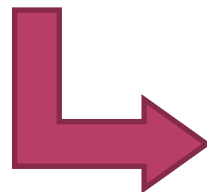


# これまでの取り組み

- H18年11月 体重80kgの利用者の利用が決まり立  
てないという情報から急遽床走行リフトの導入⇒納  
入業者より使用方法の指導を受け職員同士練習を  
し利用者の受け入れを準備

しかし


- 結果短下肢装具を使用すると何とか立位が取れる  
ということがわかり、床走行式リフトを購入したが次  
第に施設内の奥のほうへ最終的には倉庫に眠る状  
態に



**アセスメント  
不足**





# 必要性を感じながら①

時期	研修	福祉用具	結果
平成21年度	北欧式移乗・移動介助 (筑後地区老人福祉施設協議会主催)		伝達講習を行うが浸透しない
平成22年度		トランスファーボード・ モジュール車いす3台	
平成23年度		モジュール車いす5 台・低床ベッドの導入	
		遂に倉庫に眠る ことに(涙)	
平成26年度	リフトラーター研修	床走行リフターはフロ アーに戻り活用開始	床走行リフト操作の評 価表を作成し指導。ク リアした職員から実践
	介護技術講座 (短大からの出前講座)		生き生きとした職員の 姿があった

# 必要性を感じながら②



時期	研修	福祉用具	結果
<p>平成27年4月から年に2～3回</p> 	<p>移動・移乗研究会で学んだ介護福祉士養成校の教員より研修会を開催</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・スライディングシート</li><li>・スライディングボード</li><li>・トイレ用吊具</li><li>・職場定着支援補助金で床走行リフトを1台購入</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・抱えない介護推進委員会を立ち上げる。</li><li>・スライディングシートを活用したベッド上での上方移動や体位変換、車いすの座り直し・リクライニング車いすへの平行移乗</li><li>・スライディングボードを使用した移乗介助</li><li>・床走行リフトの使用回数 3519回/365日</li></ul>
			<ul style="list-style-type: none"><li>・腰痛者は9/19名→6/19名に減</li><li>・腰痛での休みの発生もない。</li></ul>

# 順調にしていると思っていたが



H27年度からH29年度も同様に利用者の状態に合わせた  
アセスメント、技術の習得、統一したケアの実践

「この利用者に対しこの福祉用具を使用して実践する」とい  
うような表面的な技術を職員に伝達



結果として

- ◆腰痛で仕事を休む職員が再発生。
- ◆福祉用具は何となく使用されている。
- ◆腰痛調査から用具を使用できているかの調査へ。

委員会が違う方向に向かって行っていた

# 応募の動機



委員会が違う方向にむかっていた

腰痛調査から福祉  
用具の使用状況調  
査へ。。。

大きな軌道  
修正を行う  
ために

研修に  
参加！

- ①抱え上げない介護の勉強を続けること、
- ②抱え上げない介護を実践を継続・充実すること
- ③職員が腰痛なく安心して介護ができる施設・長く働ける施設にになること

# なんで私だけきついと？



## ボード移乗



ボードの  
位置が間  
違っている



介助者の体  
型に合わせ  
たボード移  
乗



浅く座り半分お  
尻を乗せボード  
は車いすの対角  
線上に座面の中  
央まで





# どっこいしょ はあ〜。。。 (床からの立ち上がり)



お互いに  
「あ””“”」と  
必死！！



布団の下に足  
台を差し込む

後方より押し足台  
部分に座る







# 「こげんせやんとよ」

全く立てないけどトイレに行きたい

最初は「機械なんて嫌」と言われていたが、職員に頼みこまれ、仕方なくから始まりました。

「あたしが教えてやるけん。ここに当てるとたい」  
利用者が職員に教えるほどに



嫌やん嫌やん。  
あんたが抱える  
とよかやんね



よろしく  
お願い  
します。

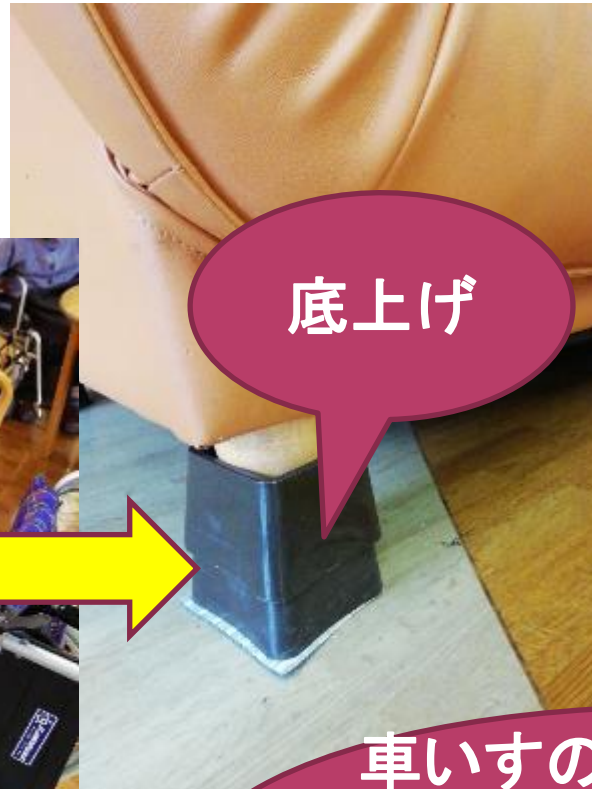


# ほかに方法はないと？ (ソファから車いす移乗)

(気合を入れて)いくよ。  
いしょ～！



底上げ



車いすの座面とソファの座面の高さを同じにすることでボード移乗ができる！

# 目標⑪それぞれの腰痛の度合いに対しての対応策や職場での腰痛予防に対する取り組みが決定し実施されている

- ①簡易腰痛調査を年に3回(4.8.12月)実施
- ②痛みのフローチャートを作りそれぞれに応じた対応策を考え張り出す。……



職員に了解をと  
り、名前マグネッ  
トを張り出した

結果:いたわり合い、助け合い、チームワークが深まりました

# 腰痛リスクマネージメント



オムツ台車の45Lのごみ袋いっぱいにおムツ交換をしたごみが入るととても重たくごみ箱から出すのが大変

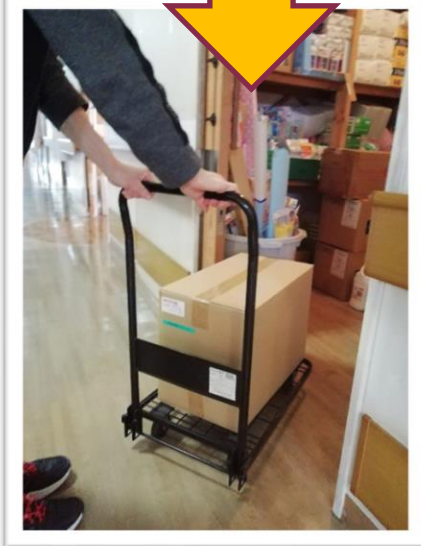
約15kgを引  
き上げるの  
は大変。

ごみ箱を外し

引き出せるように。  
ごみは袋の半分  
まで



# 重たいものを物品庫に出し入れする際に重たいものを抱えている



講師に相談。「納品時台車に乗せてもらって台車ごと直せばいいんじゃない？」

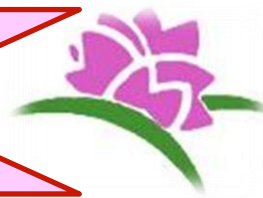


# 届きました！

# スタンディングリフト



# 頑張ってよかったこと

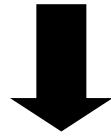


- スタンディングリフトの体験を通して「乗ってみたい」「次は俺じゃろ？」ご利用者の楽しそうな表情が見れた。
- 自分たちでは気づけなかったことに気づかせてもらえた。
- 「やってよかった」スタッフの声
- ご利用者の笑顔が増えた。
- できることが少しだけ増えた。
- 
- 腰痛で休まなくてよくなった。
- 
- 気持ちも楽になった。
- 日頃から体の使い方を気にするようになった。
- ストレッチを活用している。
- みんな無理をしなくなった。
- 新たなことを学べ楽しかった。
- 
- ご利用者と一緒にできたことを喜べた。
- 常時の腰痛から解放された。
- 福祉用具の活用ができるようになった。

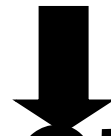


# 今後の課題

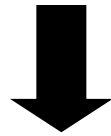
①今年度実践したことの振り返り



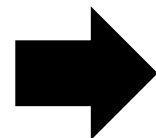
②課題の抽出 体制づくり(マニュアルの作成)



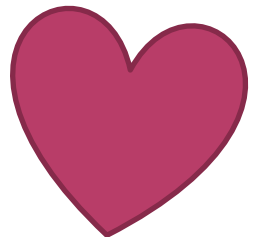
③繰り返しの教育



④ノーリフティングケアの定着



ご利用者職員ともに幸せ





# 最後に



ご清聴ありがとうございました。